

TOHO

広報東峰

1

JAN.2025

Vol.238

【特集】 広報紙アンケート結果



★今月の表紙★

今月号の表紙は、今年の干支にちなんでへび(巳)のしめ縄と折り紙を作ってみました。脱皮して成長する姿から、へびは再生・復活の象徴とされています。災害からの復興を目指す東峰村にとって、いい年になりそうです。





東峰村長 眞田 秀樹

年頭の

村民の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和7年の新年を健やかに
お迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、元旦からの能登半島地震や、日向灘を震源とする地震で南海トラフ地震臨時情報が出されたり、
東北での梅雨前線による大雨など、全国各地で大きな災害が発生しました。被災された皆様に心よりお見
舞いを申し上げます。幸い、村では大きな災害はありませんでしたが、本当に全国各地でいつ災害が起こっ
てもおかしくありません。皆様も、災害に対する心構えや非常用持ち出し品などの備えをしっかりとお願いし
たいと思っています。

まず、昨年2月に発表した後期高齢者医療保険料還付手続きの未処理について、また、10月に判明し
た税の年金情報の税情報システムへの取り込み処理の誤りによる、課税額等の賦課誤りにつきまして、該
当される皆様には、住民税のみならず、後期高齢者保険料や介護保険料の算定にまで影響があり、また、
普通徴収での納付書による納付をお願いしなければならないなど、大変なご迷惑をおかけしました。大変
申し訳ありませんでした。電算処理の中での処理誤りと言う事で、確認がしにくいものではあります。マニ
ユアルの整理やチェックリストによる確実な手順による処理ができる体制を作ってまいりますとともに、住民
の信頼があってこそその役場職員という意識付けを常日頃よりしっかりと行い、再発防止に取り組んでまい
ります。

さて、村では現在、今後10年間の村の進むべき道を指し示す「総合計画」を策定しています。今後10
年のみならず、30年、50年先も東峰村として生き抜いていくための基本方針を考えています。自然豊かな
この東峰村、いいところはたくさんありますが、人口が減少しているのは事実です。しかしその中でも、元
気が発信できる村、これからも東峰村として持続する「合併しない村」とするために、「強い村」であるべき
と思っています。強い村とは、強い財政、強い行政、強い地域が必要だと思っています。これらを実現する
ためには、庁舎のあり方、医療、保育、買い物、など、課題に正面から取り組んでいかなければなりません。

また、福祉、くらし、農業、地域の活力、文化の継承など様々な地域の課題に対しても、行政がすべて
直接解決することは不可能だと思っています。私はその一つの解決する手段として、地域コミュニティ協議
会があると考えています。ようやく検討委員会も動き始めました。現在地区説明会を行っています。コミュ
ニティ協議会の設置を押し付けるものではありませんし、区や集落の再編でもありません。

コミュニティ協議会という地域のことを考え行動する新しいしくみの中で、地域の課題解決や魅力創出、
例えば地域でものづくりや特産品開発、地域資源や農地の活用などみんなで考え、取り組むことにより、
活力のある地域になれると確信しています。それが「強い地域」であると思っています。今後地域ごとに検
討を行っていきますので、皆様も取り組みの中で地域の将来を本気になって考えていただきたいと、期待し
ています。

村民の皆様におかれましては、引き続き村政に対し、なお一層のご理解とご協力を賜りますよう心よりお
願いを申し上げます。

最後になりますが、新しい年が皆様にとって素晴らしい年となりますように心から祈念を申し上げ、新年
のご挨拶といたします。

ご挨拶



東峰村議会 議長 伊藤 均

新年、あけましておめでとうございます。村民の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。平素より、村議会に対しまして、深いご理解と、ご協力を賜りまして衷心より感謝を申し上げます。

昨年は、1月1日に能登半島を震源とする大地震により、石川県では未曾有の災害が発生するとともに、被災により460人以上の方が亡くられました。被害に遭われ亡くられた皆様のご冥福と、ご遺族に心からお悔やみ申し上げます。また、甚大なる被害を受けられた皆様にも、改めてお見舞い申し上げます。

さて、昨年の東峰村議会では、定例議会4回、臨時議会3回、議員の全員協議会を13回、予算及び決算説明会を各1回、総務常任委員会を14回、経済常任委員会を17回開催して、村の事業、執行状況を協議し、定例議会・臨時議会では63の議案を慎重審議し、採決を行いました。

昨年の議員定数調査特別委員会では、村民に期待され信頼される議会を目指し、議会力アップへの挑戦を実施してきました。1月に区長と江藤教授（アドバイザー）との講演会及び意見交換会を実施し、2月には「議会の在り方と議員定数」を演題とした住民向け講演会を開催しました。8月には議員定数に関する住民アンケートを実施し、アンケート結果については11月5日から開催しました議会報告会にて報告いたしました。本年1月には、これからの議会のあり方・議員定数について最終的な結論をまとめ、3月の議会定例会において委員長より議員定数調査報告及び議会行動指針計画の最終報告を行い、審議し決議することにより、令和8年に実施される村議会議員選挙に反映されることとなります。

昨年の審議された議案を振り返ってみますと、令和6年度一般会計48億3600万円の当初予算を慎重審議し原案通り可決しました。日田彦山線沿線のBRT3駅周辺整備計画では、宝珠山駅周辺整備事業1億1,216万9千円、大行司駅周辺整備事業1億2,266万1千円、筑前岩屋駅周辺整備事業398万2千円、地域の特産品開発事業1,664万9千円等をBRT駅周辺整備計画事業として可決しました。3駅周辺整備計画における進捗状況としましては、宝珠山駅周辺整備については、昨年より駅舎一部のリノベーション工事に取掛かっているところです。また、筑前岩屋駅周辺整備については、本年より駅周辺整備事業に係る基本設計を行います。大行司駅周辺整備については、駅舎からホームまでのバリアフリー化を含めた周辺整備計画について本年も引き続き協議をしていきます。

昨年を振り返ってみますと、元旦の大地震から新年が始まりましたが、7月には、第33回夏季オリンピック・パリ大会が開催され、日本は海外のオリンピック大会では過去最多のメダルを獲得し、明るい話題となりました。昨年より、新型コロナウイルス感染症も、インフルエンザと同等の5類感染症に移行されましたが、いまだに流行は続いております。経済活動やイベント等は、流行前に戻ってきましたが、感染への警戒は怠らないよう気をつけて生活していただきたいと思っています。

本年も、執行部と力を合わせて、村民の皆様が安心して暮らせる村づくりに努力してまいります。本年も議会に対しまして、なお一層のご理解とご協力を賜りますよう、衷心よりお願いを申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって、明るく、良い年でありますよう、心からご祈念いたしまして、年頭の挨拶といたします。

お役に立てるように頑張ります！

■ 新教育委員の紹介



▲仲道 優さん

この度、教育委員に就任いたしました仲道 ^{なかみち まさひろ} 優です。これまで、スポーツ少年団（ミニバスケット）の指導やスポーツ推進委員などには携わってまいりました。

現在、学校教育を取り巻く環境は、少子化による問題や SNS でのいじめ、教職員の確保、子どもの悲惨な事件・事故等、難しい課題が山積みしています。そういう時代だからこそ、地域・学校・行政がしっかりと連携して取り組むことが重要だと思っています。私自身、微力ではありますが、精一杯務めさせていただきます。皆様のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

ピクミン× JR 九州のコラボ

■ ピクミントレイン出発式

12月14日（土）、JR 添田駅にて、任天堂の大人気ゲーム「ピクミン」とコラボしたラッピングトレインの出発式が行われました。当日は、出発式に先立ち、ピクミンサンバイザーを被ってピクミンに扮した日田彦山線沿線の小学生が、車両にステッカーを貼り、ラッピングを完成させました。出発式後、ラッピングされた3台の車両は多くの方に見送られ、添田駅から日田駅を往復で運行しました。

令和7年6月30日までの期間、以下の時刻で毎日、ラッピング車両（しゃくなげカラー・柵田カラー・水郷カラー）のいずれかが運行されます。期間中には九州の色々な駅にピクミンたちが装飾されたピクミン駅が登場しており、福岡県では唯一、東峰村の筑前岩屋駅が装飾されます。

【ラッピング車両運行予定時刻】

- 添田駅 11：27 発 ⇒ 日田駅 13：03 着（ひこぼし7号）
- 日田駅 13：48 発 ⇒ 添田駅 15：25 着（ひこぼし12号）



▲ JR 九州 HP



▲ピクミンに扮した小学生達が車両のラッピングを完成



▲ピクミントレインのデザイン



▲筑前岩屋駅のホームにもピクミンのデザイン



▲めがね橋の上を3台のラッピングトレインが運行

寒さに負けず元気に走り回りました

■ キッズバイクレース及びデンマーク式自転車教室

12月8日(日)、宝珠山グラウンドにて、福岡県、東峰村、添田町で構成する日田彦山線沿線地域振興事業実行委員会の事業の一つとして、2歳から6歳までの未就学児を対象に、キッズバイクレース及びデンマーク式自転車教室*が開催されました。

どちらもペダルのないキックバイクを用いて行われ、キッズバイクレースでは難しいコーナリングも器用に乗りこなす子ども達によって、未就学児とは思えないほどスピード感のある白熱したレースが繰り広げられました。

*デンマーク式自転車教室とは…自転車先進国のデンマークで発明された子ども向けの「遊びながら学べる」自転車教育プログラム。



▲白熱したレースが繰り広げられました！



▲自転車教室では楽しく遊びながら乗り方を学びました

冬の夜空に浮かび上がる

■ BRT ひこぼしライン めがね橋ライトアップ

12月7日(土)～1月4日(土)、BRT ひこぼしラインの利用促進のため、近代土木遺産に指定されているめがね橋(栗木野橋梁及び宝珠山橋梁)のライトアップとJR 筑前岩屋駅舎及びほうしゅ楽舎のイルミネーションを行いました。訪れた方々は、冬の夜空に浮かび上がるめがね橋やイルミネーションの幻想的な風景にとっても感動していました。



▲ライトアップされためがね橋の上をBRTが運行



▲近くで見ると大迫力



▲筑前岩屋駅舎のイルミネーション



▲ほうしゅ楽舎のイルミネーション

12月4日～10日は「人権週間」です！

■ 人権週間における街頭・企業啓発

12月4日（水）、人権週間の一環として、街頭・企業啓発を行いました。当日は、東峰村人権教育推進協議会委員と東峰村人権擁護委員の皆さんと一緒に宝珠山交差点、道の駅小石原周辺で啓発物品を配布した後、村内約30か所の企業を訪問して啓発活動を行いました。午前中の慌ただしい中、委員さんの呼びかけに笑顔で答えていただき、ありがとうございました。



▲人権週間の街頭啓発をおこないました



▲村内の企業へ訪問し、人権啓発を呼びかけました

人権問題について理解を深めるために

■ 人権教育研修会

12月5日（木）、いずみ館多目的ホールにて、人権教育研修会を開催しました。今回はアフガニスタンで長年、人道支援に携わった医師の中村哲^{なかもらてつ}さんのドキュメンタリー映画「荒野に希望の灯をともし」を上映しました。

人権問題について理解を深め、ひとりひとりが差別解消のために何か行動するきっかけとしていただくことを目的として、今後も講演会・映画上映会を実施していきます。



▲昨年よりも多い177名が参加

みんなの優しさ たくさんの人に広がり

■ 東峰学園 人権の花運動

12月2日（月）、東峰学園にて、人権の花運動が行われました。東峰村人権擁護委員や先生の話を通して、種まきから種取りまでの半年の活動を振り返り、「種をまこう」の詩を3年生みんなで音読しました。最後は、優しさや思いやりの心が広がるようにと願いを込めて、育てたひまわりの種（人権の種）とメッセージを風船につけて空高く飛ばしました。

*一週間後、長澤 凛香さんの風船が、愛媛県八幡浜市のみかん農家に届いたといううれしいお知らせがありました。



▲人KEN まもる君と3年生



▲ひまわりの種と風船に願いを込めて

おめでとうございます！

もりやま かねみつ ずいほうたんこうしょう
■ 森山 金光さんが秋の叙勲で瑞宝単光章を受章

令和6年秋の褒章で、小石原地区の森山 金光さんが瑞宝単光章を受章されました。瑞宝単光章は、国家や公共に対して長年にわたる功労を挙げた人に授与される勲章で、森山さんは1970年頃から国の伝統的工芸品である小石原焼の世界に入り、以降小石原焼陶器協同組合青年部や同組合の役員、伝統工芸士会などの活動を通じて、小石原焼の普及・発展に携わり、産業の振興に貢献したことが認められました。

受章にあたり森山さんは、「家族や周りの方々の支えのおかげで、大変光栄な賞を受章することができました。」と述べられました。この度の受章、誠にありがとうございます。



▲瑞宝単光章を受章した森山さん

みんなで守ろう！水源の森

■ 第24回宝珠山百年の森づくり記念植樹

11月23日(土・祝)、岩屋キャンプ場山村広場付近の山林にて、宝珠山百年の森づくり記念植樹が行われました。この事業は、植樹活動を通して、森づくりの大切さを学び、豊かな森づくりを行う事を目的としており、今年もオイスカ西日本研修センターから多くの海外研修生が東峰村を訪れ、村民、実行委員会スタッフなど総勢51名が参加し、15本の苗木を植樹しました。

植樹後は、山村広場で交流会を行い、地元食材を生かした料理がふるまわれ、音楽グループ「カントリードリーマーズ」のライブなど参加者は賑やかな時間を過ごしました。



▲苗木の植樹



▲植樹活動を通して、森づくりの大切さを学びました

Goose Loc'R (ぐーすろっか) 様より

■ 平成29年九州北部豪雨災害の被災者へ義援金

12月16日(月)、北九州市の介護職員や商店主などで作る市民団体 Goose Loc'R (ぐーすろっか) の代表 藤原 洋子様と関係者が来村され、九州北部豪雨災害の義援金をいただきました。

Goose Loc'R 様は、平成30年度から毎年、地域でのイベント等での売上の一部を義援金として寄附していただいています。また、棚田まもり隊の焼酎づくりでは助言もいただき、交流がつながり、地域が元気になる活動として支援していただいています。誠にありがとうございました。



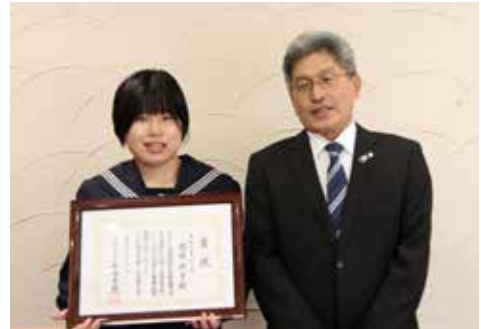
▲義援金をいただいた Goose Loc'R の皆様

税を正しく考える

■「税についての作文」表彰

12月5日（木）、全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁が主催する「税についての作文」において、東峰学園9年生の肥後桃子さんが東峰村長賞に選ばれ、表彰されました。

これは、将来を担う中学生の皆さんが、身近に感じた税に関する事、学校で学んだ税に関する事、新聞やテレビなどで知った税の話などを題材にした作文を書くことで関心を持ち、正しい理解を深める趣旨で実施されているものです。



▲村長賞を受賞した肥後さん

そこは、英語だけの世界

■東峰学園4・5・6年生がKGGで英語体験！

11月20日（水）、東峰学園4・5・6年生が北九州市のKGG（北九州 グローバル ゲートウェイ KITAKYUSHU GLOBAL GATEWAY）を訪問しました。KGGは体験型英語学習施設で、日本にいながら海外の雰囲気の中で英語体験を通じて学ぶことができます。英語だけの世界に最初は緊張していた子ども達でしたが、空港やマーケット、レストラン等の模擬店舗に入り、今までに身に付けた英語を使いジェスチャーも交えながらコミュニケーションを図ることができ、充実した英語の世界を味わうことができました。



▲ホテルでチェックインする様子



▲レストランで注文した料理を食べている様子

跳んで！まわして！熱くなれ！

■東峰学園 スポコン広場 北筑後地区大会

12月3日（火）、福岡県が小中学生の体力向上を目的にオンラインで実施しているスポーツコンテスト「スポコン広場」の「みんなでなわとび」部門（50チーム出場）に東峰学園の3・4・5・6年生が出場しました。子ども達は目標達成に向け、みんなの心を一つにし、厳しい練習を重ねてきました。新記録を達成し喜びいっぱいの学年もあれば、思うような結果を残せず悔しがっていた学年もありました。熱い思いで本気で取り組んだ東峰学園の子ども達でした。



▲リズムよく跳んでいる様子



▲今年で最後の出場となった6年生

謙虚な心を茶道で

■ 東峰学園 作法教室（茶道体験）

11月27日（水）、12月3日（火）、12月12日（木）、全児童・生徒を対象に作法教室を行い、講師の元永 英美もとなが ひでみさんから礼儀作法や茶道作法を指導していただきました。

この教室は、礼儀を重んじた所作を知ることによって相手を尊び、感謝する心・思いやりの心を育成することを目的としています。中学部では、8年生が美術科の学習でデザインし、職人に商品化していただいたオリジナルの和菓子を、抹茶と一緒に美味しくいただきました。



▲9年生の茶道体験の様子



▲8年生が考えた3種類のオリジナル和菓子

歴史の息吹を感じる京都・奈良・広島の旅

■ 東峰学園 8年生 思い出いっぱい研修旅行

12月8日（日）～10日（火）、東峰学園8年生は京都、奈良、広島へ研修旅行に行きました。京都や奈良では歴史遺産を見聞したり留学生との交流をしたりし、充実した班別自主研修になりました。

広島では平和公園や平和記念資料館を訪れ、平和への思いを込めた千羽鶴を奉納し、平和をつつていくのは私たちだと強く決意しました。学び多く、友情を深めた思い出いっぱいの3日間でした。



▲東大寺にて



▲清水寺にて

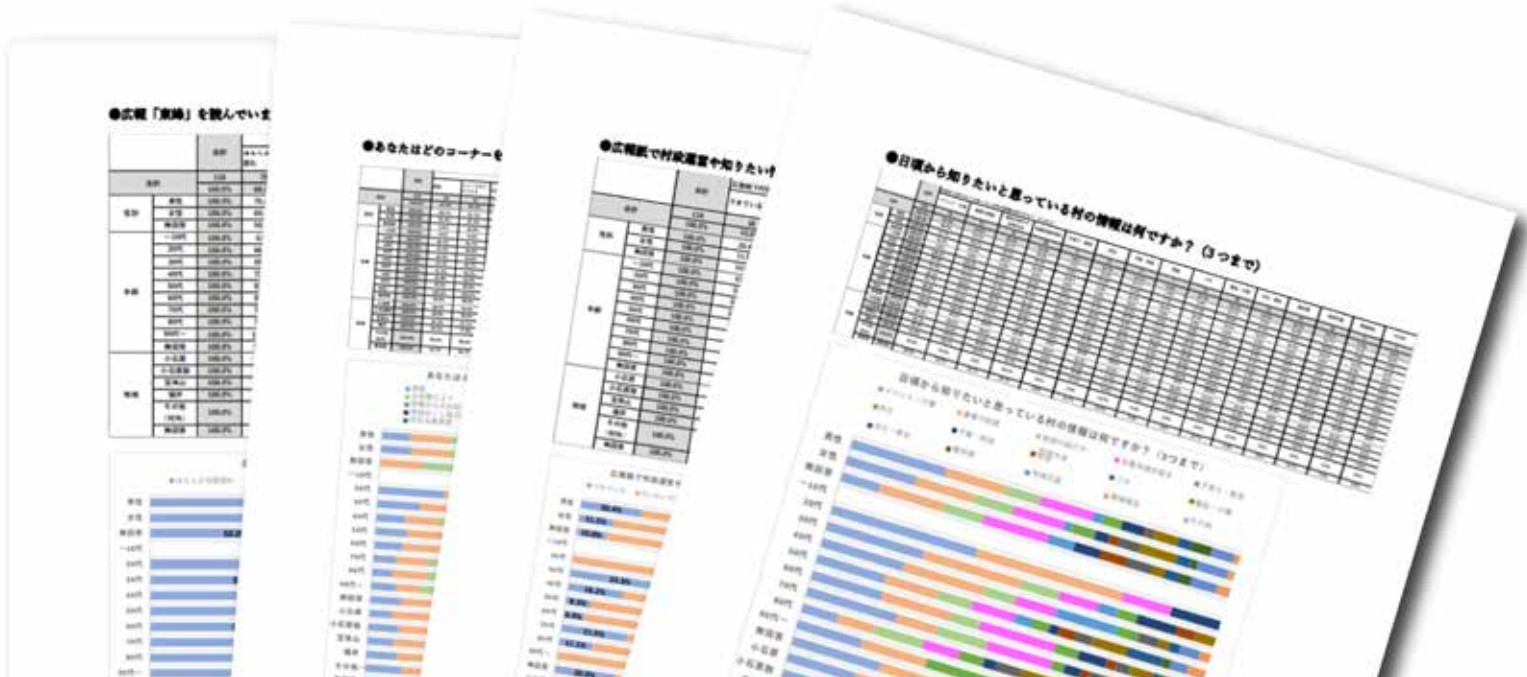


▲京都での自主研修にて



▲平和集会の様子

広報紙アンケート結果



村民の皆さんへ、より読みやすく親しみの持てる広報紙をお届けするため、10月15日（火）～10月25日（金）の期間、広報「東峰」のアンケート調査を実施しました。集計を行った結果、アンケートに回答してくださった方の多くは広報「東峰」に興味を持ってくださっていることがわかった反面、文字の大きさやイラスト・写真の量などについては若干課題があることなどがわかりました。

これらの結果は、今後の広報紙作成に活用していきたいと思っております。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

【実施概要】

(1) 実施期間

10月15日（火）～10月25日（金）

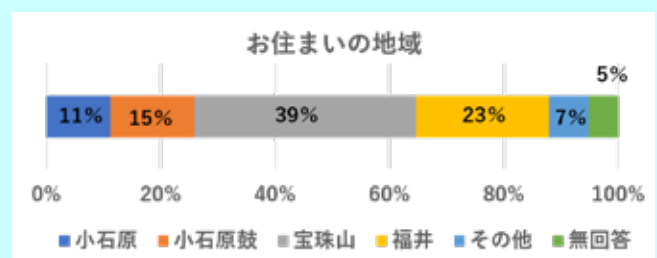
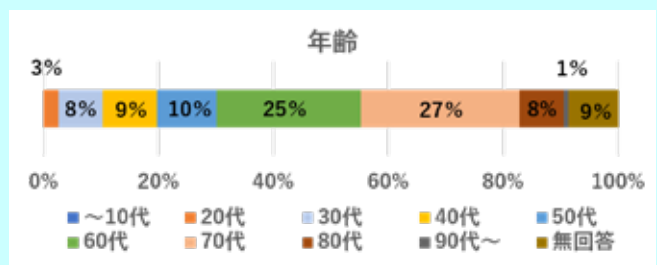
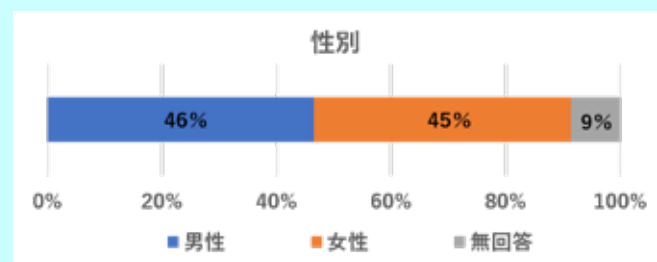
(2) 調査方法

広報10月号にアンケート用紙を折り込み、村内全戸配布。村ホームページにアンケートフォームを設置したほか、SNSでも回答を呼びかけた。

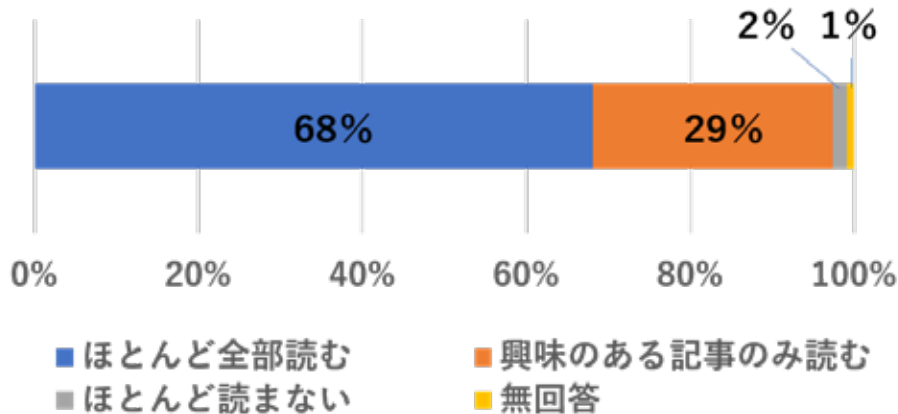
(3) 回答数

116件

*今回の調査では、10代以下の方の回答はありませんでした。



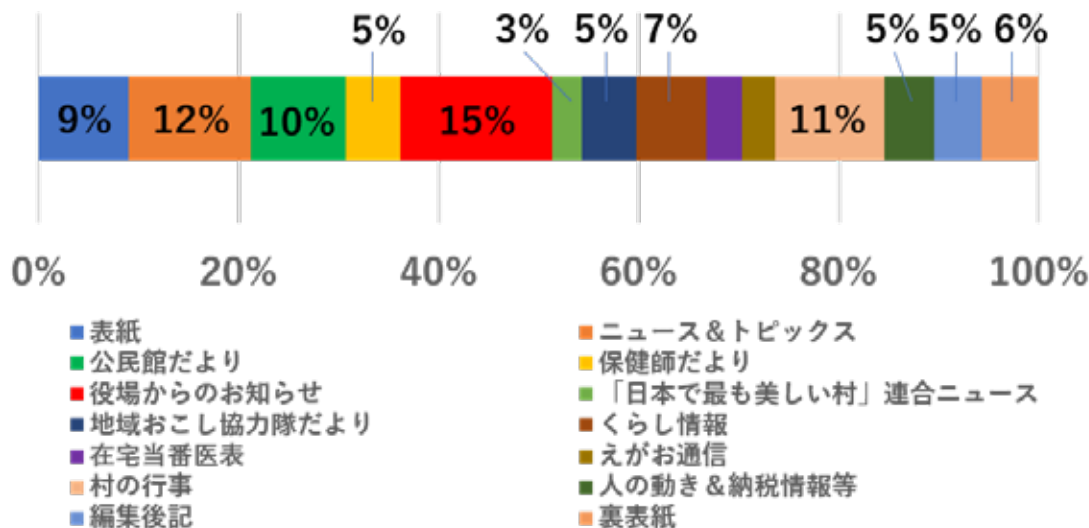
●広報「東峰」を読んでいますか？



回答件数は昨年に比べて2倍近くに上がりました。(昨年は61件)

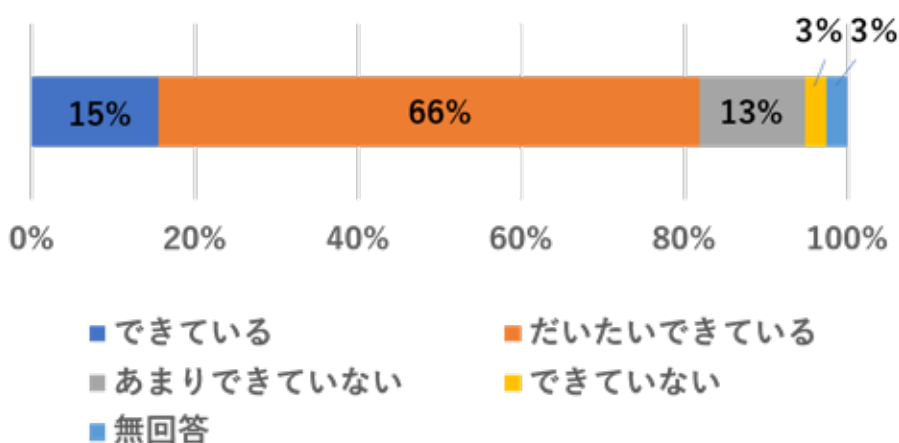
また、ほとんど全部読む方が68%、興味のある記事のみ読む方が29%と、アンケートに回答してくださった方の多くの方が広報「東峰」に対し、高い関心を持ってくださっていることがわかりました。

●どのコーナーをよく読みますか？（複数回答可）



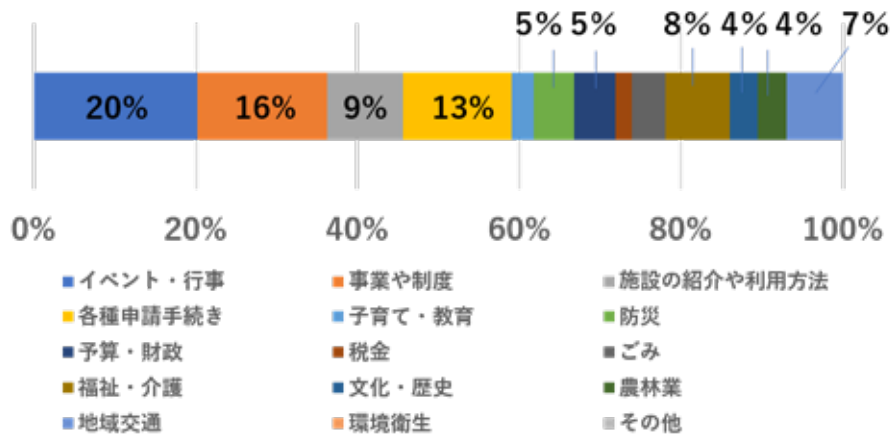
全体的に分かれています。が、「ニュース&トピックス」「役場からのお知らせ」「村の行事（スケジュール）」を読む人が多い結果となりました。

●広報紙で村政運営や知りたい情報を得ることができていますか？



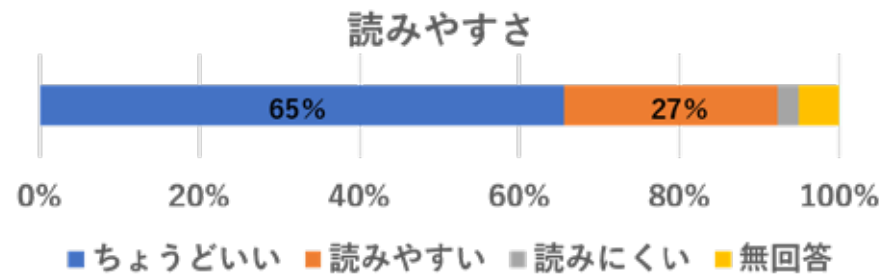
広報紙で村の情報を得ることができている方が15%、だいたいできている方が66%と、広報紙からおおよその情報を得ることができていることがわかりました。

●日頃から知りたいと思っている村の情報は何ですか？（3つまで）

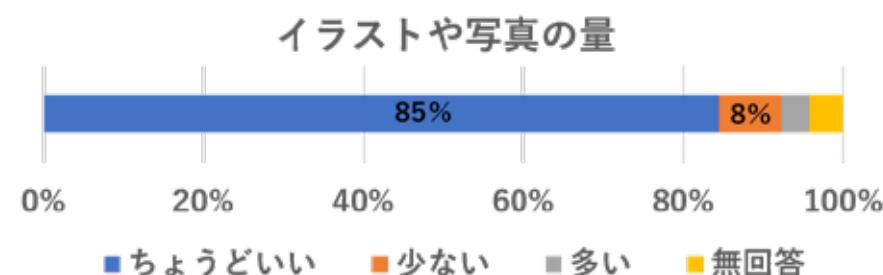
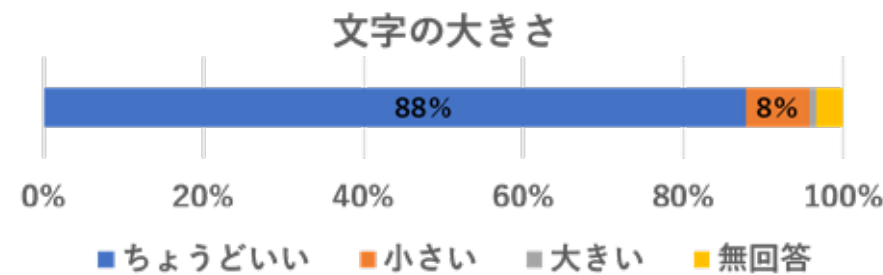
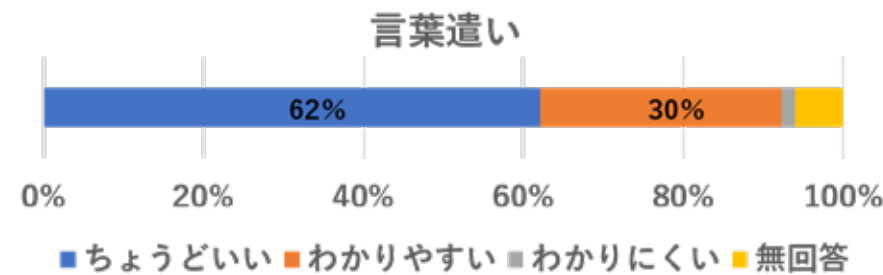


全体的に分かれています。 「イベント・行事」「事業や制度」「各種申請手続き」について知りたいと思っている人が多い結果となりました。

●現在の広報紙についてお聞かせください。



読みやすさ・言葉遣いについては、「ちょうどいい」と感じている人がほとんどという結果となりました。一方で、文字の大きさは8%の方が文字が小さいと感じており、また、イラストや写真の量についても8%の方が少ないと感じている結果となりました。

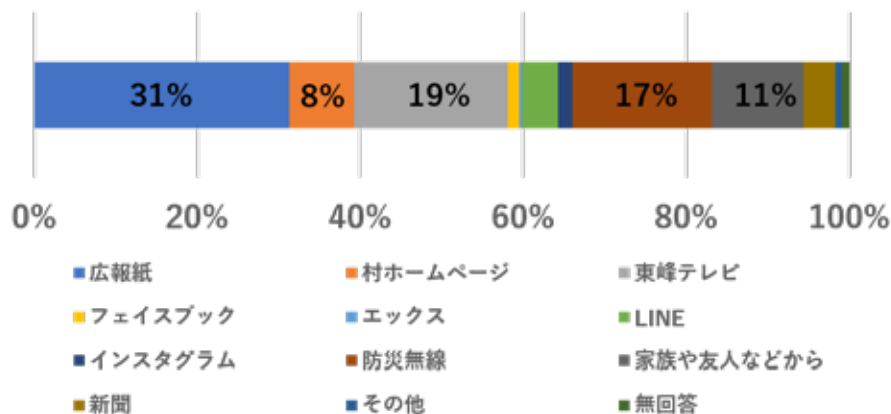


●新設してほしいコーナーや取り上げて欲しいことは？

- 村内で特技を持っている人や、何かを作ったり育てたりしている人の紹介（小石原鼓地区・男性）
- 村の高齢者のご経験や記憶の伝承（小石原地区・50代）
- 村で変わった仕事をしている人（福井地区・70代・男性）
- 村のリユース・リサイクル活動について *不要になった物をもらってくれる情報の場（福井地区・60代・男性）
- 訃報を知らせる（福井地区・60代・男性）
- 読者プレゼント、クロスワード、村の子どもや希望者を表紙にする。（小石原鼓・30代）
- 議員さんがどういう活動をしているのかの紹介。議会だよりだけでは活動があまり紹介されていない。（小石原鼓・30代）
- 村の補助を受けている団体の紹介（福井地区・40代）

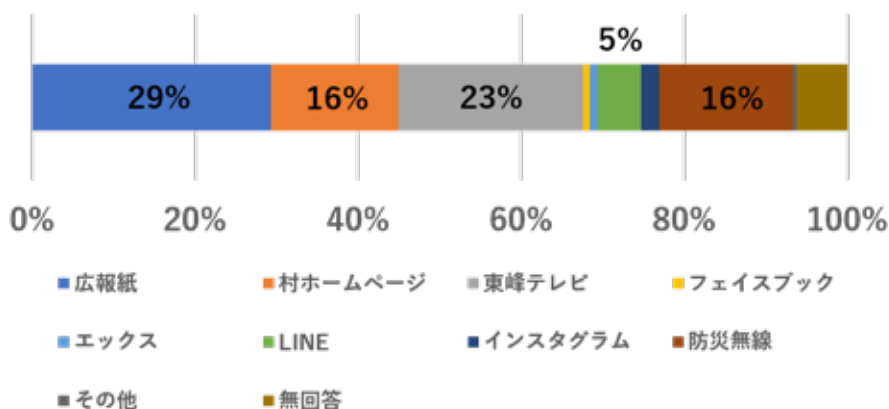
たくさんのご意見ありがとうございました。いただいた意見については、今後検討させていただきます。

●村からの情報収集の手段は？（複数回答可）



村からの情報収集の手段としては、現状は広報紙と東峰テレビと防災無線が主であることがわかりました。

●今後内容を充実させて欲しい手段はどれですか？（複数回答可）



今後は、広報紙、東峰テレビ、防災無線を充実させて欲しいとともに、ホームページやLINEも充実させて欲しいという方が多い結果となりました。

●村からの情報発信や広報紙について、ご意見や感想などがあれば、自由にご記入ください。

■いろいろと編集に工夫されている所が感じられます。読みやすさ・視覚に伝える所も大変良いと思います。今後もさらなる研鑽をお願い致します。毎月の広報を楽しみにしています。(小石原鼓地区・70代・男性)

■これからも広報紙作成に頑張ってください。楽しみにしています。(小石原地区・60代・男性)

■写真が多用されていて、内容がより具体的に伝わります。表紙や裏表紙の写真も東峰村のよさや季節感がよく表現されていて楽しみにしています。(宝珠山地区・60代・女性)

■いろいろ工夫されていると思います。写真もきれいで楽しんでいます。(小石原鼓地区・70代・男性)

■フォトギャラリーに花をきれいに撮ってのせてもらってうれしいです。もっと色々な花を植えて皆に見てもらいたいです。(宝珠山地区・70代・女性)

⇒たくさんのご意見ありがとうございました。今回の結果を踏まえ、今後よりよい広報紙になるよう改善に努めていきます。

■1ターンを増やすことにはつながっていないのでは？配布先や媒体をよくご検討下さい。写真の美しさにはいつも感心しています。(小石原地区・50代)

⇒移住者を増やすには、村外に向けて東峰村の魅力を積極的に発信することが大切と考えております。現在広報紙は主には村民の方向けに発行しており、村内の約650世帯(令和6年12月末時点)と村内の施設等に配布していますが、村外者向けにはホームページやSNS等をとおして、村の自然や伝統文化(小石原焼・高取焼)、子育て・教育に関するサポートが充実している点など様々な魅力を発信しています。

■広報紙の紙が良すぎるのでは。県だよりの厚さでも良いと思う。(宝珠山地区)

⇒印刷用の紙には、上質紙、コート紙、マットコート紙という3種類があり、現在村の広報紙はマットコート紙と呼ばれる紙を使用しています。(福岡県だよりは上質紙を採用)

それぞれの用紙には特徴がありますが、マットコート紙は、コート紙と同様に表面がコーティングされていますが、光沢が抑えられており、しっとりとした質感で高級感があり、表面が反射しないので読みやすいなどの特徴があるため、広報紙やパンフレットなどに使用されることが多く、村の広報紙も印刷にはマットコート紙を採用しています。また、印刷費については、印刷方法を業者委託からインターネット印刷に変更することにより、従前よりも安く作製できています。

■お疲れさまです。広報紙以前に比べ随分読みやすくなったように思います。広報紙を開くことが多くなりました。ただ、えがお通信文章がただただではないでしょうか？お伝えしたいことはわかりませんがもっとコンパクトにして欲しいですね。(福井地区・50代・女性)

⇒今後は村長と協議し、要点をまとめるもしくは、箇条書きにするなどして、コンパクトにすることを検討したいと思います。

【今後の改善予定】

■文字のフォントを読みやすいものに変更し、サイズを大きくする。

■イラストや写真の量を増やし、一目で様子がわかるようにする。

■他の自治体等を参考に、よりよい広報紙となるよう検討する。

定期予防接種はお済みですか？ 〈令和6年度定期予防接種について〉



定期予防接種は、予防接種の種類により法で決められた接種対象年齢があります。乳幼児期以降の予防接種はつい忘れがちですが、病気の予防・免疫の維持のためにも非常に重要です。母子健康手帳を確認してまだ受けていない予防接種がある場合は、期間内に接種を受けるようにしましょう。

〈 受けておきたい定期予防接種 〉

種類	今年度ご案内を送付した対象者	接種回数
MR2期 (麻しん風しん混合)	平成30年4月2日生まれ～平成31年4月1日生まれ	1回
二種混合	平成24年4月2日生まれ～平成25年4月1日生まれ	1回
日本脳炎	I期:令和3年4月2日生まれ～令和4年4月1日生まれ	2回
	I期追加:令和2年4月2日生まれ～令和3年4月1日生まれ	1回
	II期:平成26年4月2日生まれ～平成27年4月1日生まれ	1回
	〈〈特例措置〉〉 接種の差し控えにより接種の機会を逃した方 平成18年4月2日生まれ～平成19年4月1日生まれ	※個人で 異なります
子宮頸がん(HPV)	小6女子:平成24年4月2日生まれ～平成25年4月1日生まれ	3回
	高1女子:平成20年4月2日生まれ～平成21年4月1日生まれ	
	キャッチアップ接種:平成9年4月2日生まれ～平成20年4月1日生まれ	
高齢者肺炎球菌	65歳の方(65歳の誕生日から66歳の誕生日の前日まで) ※誕生月に案内はがきを郵送しています	1回

〈〈当日持っていくもの〉〉

- ・予診票・健康保険証又はマイナ保険証・おくすり手帳
- ・母子健康手帳(高齢者肺炎球菌以外の方)



〈〈接種にあたっての注意事項〉〉

- ・ワクチンの在庫がない場合もありますので、必ず事前に医療機関に予約をお願いします。
- ・定期予防接種は基本的に無料で受けることができます。(※高齢者肺炎球菌は自己負担金3000円が必要) 期間を過ぎて接種した場合、**全額自費**となる場合がありますのでご注意ください。
- ・予診票を紛失された場合は、再発行しますので下記のお問い合わせ先にご連絡ください。



〈〈お問い合わせ先〉〉 住民福祉課 予防接種担当 ☎74-2311





■ Jr. みらい塾 「しめ縄作り」

12月7日（土）、宝珠山庁舎駐車場奥にて、しめ縄作りを行いました。インフルエンザの影響もあり児童14名・保護者8名・社会教育委員3名含む事務局7名で、稲わらすきから行いました。1束のわらを3つに分けてよりをかけて作り、丸くつなげて飾りをつけたら出来上がり。しかし、合わせる方向が違ったり、力不足でよりが足りなかったりと、最後は大人の方の力を借りて仕上げていました。自分で作ったしめ縄をお家に飾れば来年も良い年となる事でしょう。



▲わらの根元を針金で締め上げます



▲よりをかけてしめ縄にします



▲低学年もみんな出来ました



▲高学年もきれいに出来ました

■ 公民館つながり塾 「しめ縄講座」

12月7日（土）、宝珠山庁舎駐車場にて、講師に岩屋地区の井上 いのうえ かずよし 和是さんをお招きし、第5回公民館つながり塾『しめ縄講座』を行いました。60代から80代の男女9名が参加し、講師の先生に作り方を聞きながら、各自好きなしめ縄を作りました。出来上がったしめ縄は持ち帰りました。

受講された生徒さんからは、毎年しめ縄作りをしたいと大変好評でした。



▲先生から丁寧に教えて頂きました



▲素敵なしめ縄が出来ました

■ 公民館料理教室「手打ちそば教室」

11月30日（土）、いずみ館にて、東福井地区の梶原 利広かじわら としひろさんを講師にお招きし、手打ちそば教室を行い、11名が参加しました。講師がそば打ちの実演を行った後、参加者も「こね・まとめ・のし・たたみ・切り」の作業に挑戦しました。重要なポイントやコツを講師に習いながら楽しく学びました。最後に講師が実演したそばを茹でて試食しました。参加者の打ったそばは、自宅で調理して食べるように持ち帰りました。全員がこれからも自分でそば打ちをしたいと大好評でした。



▲「こね・まとめ」の作業



▲「のし」と呼ばれる生地を均一に広げる作業



▲そばを茹でる



▲できあがった手打ちそば



■ 社会教育委員による環境美化活動（花植え）

11月22日（金）、社会教育委員（公民館運営審議員）の皆さんが、いずみ館前、宝珠山庁舎及び小石原庁舎の花壇の花植えを行いました。社会教育委員とは、公民館と住民の皆さんとを結ぶパイプ的な存在で、公民館運営に住民の意見を反映させ、地域住民のための公民館を実現させるため、日々活動されています。



▲社会教育委員の皆さん



▲花植え



【社会教育委員の皆さん】

くまがえ けいじ 熊谷啓二委員、
 ひぐち あきら 樋口 朗 委員、
 ふじさわ じゅんこ 藤澤 順子委員、
 やなせ ひろみつ 柳瀬 弘光委員、
 なかざき ますお 中崎 増男委員、
 むろい かずゆき 室井 和幸委員、
 べつぷ ひでき 別府 英樹委員、
 かじわら なおこ 梶原 奈央子委員



■ 岩屋キャンプ場運営スタッフ (藤原 礼臣名さん)



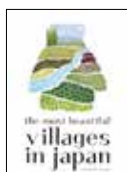
▲藤原礼臣名さん

地域おこし協力隊の藤原 礼臣名です。あけましておめでとうございます。昨年は岩屋キャンプ場で業務のお手伝いをしながら、日々村の為に出来る事があるか様子を伺う1年となりました。4月に竹地区に住み始めてから、6月の火祭り、道路愛護、草刈り、10月の棚田ライトアップイベントと目まぐるしく時間が過ぎていった気がします。特に草刈りの仕事に目覚めてしまい、春、夏、秋と村の方の協力をいただきながら、キャンプ場周辺の草刈りを頑張りました。

これからも公園の管理を学び、気持ちいい景観をキャンプ場に来るお客様に提供できるよう、努めていきたいと思えます。今年からキャンプ場では、小規模なイベントを開催したり、オリジナルキャンプギアを作成したり様々な事を行う予定です。寒い日が続いていますが、体元気に頑張ります。今年もよろしくお願いたします。



▲岩屋キャンプ場の草刈りをする藤原さん (右)



「日本で最も美しい村」連合ニュース

本コーナーでは、東峰村が加盟する「日本で最も美しい村」連合（通称、美しい村連合）に関する情報を九州内の加盟村の輪番でお伝えいたします。今月は、鹿児島県『喜界町』からお伝えします。

鹿児島県 喜界町

11月2日(土)、東京ポートシティ竹芝にて、第3回日本で最も美しい村まつりが開催されました。このイベントは、素晴らしい地域資源を持つ「日本で最も美しい村」連合の加盟町村の伝統文化などの魅力を体験してもらうことで、都市部との繋がりを生み出すことを目的に開催されており、喜界町は伝統芸能である奄美シマ唄の披露とマルシェブースでは黒糖や花良治みかん、パッションフルーツシロップをメインとした17種類の特産品販売を行いました。

延べ約1500人以上が会場に足を運び、喜界町のブースを訪れた方は「喜界島のきれいな海を見に遊びに行きたい。」「奄美シマ唄を聴いてから喜界島のファンになり、度々喜界島を訪れている。」といった声をいただきました。また、今回から来場者による美しい村人気投票が行われ、喜界町が1位をいただくことができました。来年10月に東京で開催予定の「設立20周年記念式典及び第4回日本で最も美しい村まつり」では皆さんの地域の方々とお会いし交流できることを楽しみにしております。



▲奄美シマ唄の披露



▲マルシェブースで美しい村をPR



役場からのお知らせ

宝珠山庁舎：72 - 2311
小石原庁舎：74 - 2311

住民福祉課

◆甘木税務署から確定申告のお知らせ

甘木税務署では、以下のとおり確定申告を受け付けます。

- 受付 令和7年2月17日(月)～令和7年3月17日(月) *土、日、祝日は休み。
受付時間：9:00～16:00
- 会場 甘木税務署 (朝倉市菩提寺 565 番地 1)

【令和6年分の申告期限と納期限】

- 所得税及び贈与税・・・・・・・・・・令和7年3月17日(月)
- 個人事業者の消費税・・・・・・・・・・令和7年3月31日(月)

*スマートフォンをお持ちの方は、原則、ご自身のスマートフォンにより、申告書の作成を行っていただきます。

■持参物

- ①源泉徴収票などの確定申告書作成に必要な書類
- ②マイナンバーカード
- ③マイナンバーカードのパスワード
 - ・利用者証明用電子証明書(数字4桁)
 - ・署名用電子証明書(英数字6文字以上16文字以下)
- ④マイナポータルアプリ
 - *事前にマイナポータルアプリをインストールしていただくとスムーズに申告相談を行えます。
- ⑤税金の口座振替の手続きをされていない方は講座番号と届出印
 - *税金の納付は安全な口座振替を推奨しています。



▲国税庁 HP

■入場整理券の配布方法

- *会場への入場には、「入場整理券」が必要です
- ①LINE アプリによる事前発行(来場希望日の10日前から申込可能)
- ②会場での当日配布

お問合せ

東峰村役場住民福祉課 (電話：0946-74-2311)

令和7年2月1日を調査期日として、農林業センサスを実施します。農林業センサスは、5年に1度、全国一斉で実施される農林水産省の統計調査で、国や地方自治体が行う農林行政の企画・立案の基礎となる大切な調査です。調査の対象となる、農林業を営んでいるすべての農家、林家や法人には、1月中旬ごろから統計調査員が訪問して調査を行いますので、その際にはご回答をお願いいたします。

農林業センサスとは

農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源などの農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成することを目的に、5年ごとに行う大規模な調査です。

■調査期間

令和7年1月中旬～令和7年2月末まで
*1月中旬から統計調査員が訪問いたします。

■調査の対象

農林業を営んでいるすべての農家、林家や法人

■調査の方法

県から任命を受けた調査員が、調査対象の方を訪問し、調査を行います。
*調査員証を携行しています。

調査票の回答方法は、下記のどちらかです。

- ①調査票を調査員が回収
- ②オンラインによる回答

■記入内容の保護について

調査により集められた調査票の記入内容は、「統計法」によって厳重に保護されます。調査員をはじめとする調査関係者が、調査で知り得た内容を他に漏らしたり、統計を作成・分析する目的以外に調査票を使用することは絶対にありません。これらの行為は、「統計法」により固く禁じられていますので、安心してご記入くださるようお願いいたします。



ふるさと推進課

◆ミニコンサートのお知らせ（AIR 事業）

福岡県では、JR 日田彦山線沿線地域の東峰村・添田町に 1 カ月程度滞在し、作曲活動を行いながら地域活性化や関係人口・交流人口の拡大に貢献する「AIR（Artist In Residence）事業」を令和 6 年 8 月下旬から開始しています。

AIR 事業アドバイザーである西本幸弘さんをお迎えして、お子様、ご家族、音楽好き、みんなで楽しめるコンサートが東峰村、添田町で開催されます！

■ 2 月 8 日（土）ミニコンサート

開催場所：添田町（オークホール研修室）

開催時間：15：00（14：30 開場）

■ 2 月 9 日（日）ミニコンサート

開催場所：東峰村（小石原公民館）

開催時間：15：00（14：30 開場）



▲昨年のミニコンサートの様子

お問い合わせ

東峰村役場ふるさと推進課（電話：0946-72-2312）

ふるさと推進課

◆東峰村乗合タクシー（のるーと東峰）のご紹介

昨年度から稼働している東峰村乗合タクシー（のるーと東峰）は、今年度も延 2,000 人を超える方が利用されています。（令和 6 年 11 月 30 日時点）

あくまで、乗合でのタクシー運行のため、予約時刻通りの運行とならない場合もありますので、ご理解いただいた上で、ゆとりを持った予約にご協力ください。

*警報発令や積雪等により、急遽運休とする場合もございます。

■運行日時

8：30～17：00

* 10 月からの西鉄バスの減便に伴い、村から杷木バス停への接続として、定時定路線で早朝便（6：00 小石原庁舎発杷木行き）と夜便（19：15 杷木バス停発東峰村行き）を運行しています。

■予約受付

○電話予約（090-1038-4785） 平日の 9：00～17：00

○アプリ予約（LINE 予約） 24 時間いつでも受付可能



▲アンドロイド版



▲IOS 版

お問い合わせ

東峰村役場ふるさと推進課（電話：0946-72-2312）

ふるさと推進課

◆東峰村観光アクションプラン推進委員会を開催しました

村では、令和2年度に福岡県・添田町・東峰村で策定した「福岡県日田彦山線沿線地域振興計画」における地域振興や観光振興の取組みを推進するため、本計画に基づく「東峰村観光アクションプラン」を令和3年度に策定しました。村はこのアクションプランに沿って、令和4年度から令和8年度にかけて観光振興の具体的な取組みを推進することとしており、本事業の進捗管理や評価、見直し等を担う推進委員会を発足、運営しています。

11月22日（金）に開催した第2回委員会では、令和6年度事業の進捗報告と今年度の重点テーマである観光中核組織（観光協会等）の構築について協議を行いました。観光中核組織が備えるべき基本的な機能となる観光情報の発信及び問合せ対応に対する取組みとして、AIを活用した回答生成型チャットボット*を試験的に構築、運用していくこととしており、このたび試作用のチャットボットが完成したことに伴い、チャットボットのデモンストレーションを行いました。デモンストレーション



▲第2回委員会の様子

を通じて、AIチャットボットへの理解が深められたほか、今後の活用や発展性について可能性を感じることができたと多く委員から意見や感想が出ていました。チャットボットについては、今後複数回の試作を経て、本格運用を始める予定です。また、観光中核組織の体制についても協議を行い、組織の法人化を前提とした検討を進めていくことも確認されました。

*チャットボットとは…「チャット（会話）」と「ロボット」を組み合わせた言葉で、ユーザーの問いかけに合わせて返事してくれるプログラムのこと。

お問合せ

東峰村役場ふるさと推進課（電話：0946-72-2312）

ふるさと推進課

◆東峰村公式LINEを開設しています！

村では、村政情報やイベント情報などを、村民をはじめ多くの皆さんに迅速にお届けするとともに、村政情報にアクセスしやすい環境を整えるため、令和3年8月から、LINEを活用した情報発信を行っていますので、ぜひ東峰村公式LINEの友達登録をお願いします。（その他にも、フェイスブックやエックス（旧ツイッター）、インスタグラムなどで情報発信を行っています。）

また、東峰村公認キャラクターとほっぴのLINEスタンプ（第1弾はあいさつや喜怒哀楽、かわいい表情など全24種、第2弾は可愛らしく動くアニメーションスタンプ）も販売しています。ぜひ、とほっぴスタンプでご家族やご友人とのコミュニケーションを楽しんでください。



▲LINE友達登録



▲とほっぴLINEスタンプ

お問合せ

東峰村役場ふるさと推進課（電話：0946-72-2312）

東峰村消費生活相談窓口では、村内在住者、在勤者、または在学者を対象に、リコール・悪質商法の相談や、消費者被害を未然に防ぐお役立ち情報の発信などを行っております。

相談無料、秘密厳守ですので、ぜひお気軽にお問合せください。

■相談できること

- ・返済しきれないほどの借金を抱えてしまった
- ・衣・食・住に関する商品・サービスへの苦情を言いたい
- ・突然訪問してきた業者と契約を結んでしまったが解約したい
- ・電話やインターネットの利用、新聞広告などを見て買物をしたらトラブルになった
- ・購入した商品などの不具合によってケガをしたり、危険を感じた 等

東峰村消費生活相談窓口 消費生活専門相談員 しまだ あつこ 嶋田 敦子さん

相談日時：毎月 第1金曜日と第3金曜日（祝日を除く）
午前10時から午後4時まで

電話番号：0946-23-8284



◆悪質商法・詐欺被害防止のための無料出前講座◆

悪質商法・詐欺被害防止のための「無料出前講座」についてお知らせします。全国では、依然として高齢者を狙った悪質商法や、特殊詐欺などの被害が後を絶ちません。このような被害から身を守るため、無料出前講座を利用して学びませんか？消費生活相談員が直接お伺いしてお話しします。

■対象

地区のサロンや老人クラブの集会、地域の学習会等

■内容

訪問販売に関する座学やクイズ、ゲーム、DVD鑑賞等



▲出前講座の様子

ご希望の方は、希望日の2週間前までにご連絡ください。
予算に限りがありますので、予算に達し次第終了となります。
ご希望の方はお気軽にご連絡ください。



ふるさと推進課

◆移住及び空き家の相談窓口

東峰村では、移住定住の促進のため、移住コーディネーターを配置し、事前予約制で毎月第1、第3週の火曜日に、移住及び空き家に関する相談を受け付けています。

相談は無料で、移住相談はもちろん、村内にある空き家の相談にも対応いたしますので、どうぞお気軽にご相談ください。

【東峰村移住・空き家相談窓口】

東峰村移住コーディネーター

ローカルクリエイター 図る（はかる） 小林（東峰村移住定住支援業務受託者）

【相談方法】

■対面相談（事前予約必須）

- ・日時：第1、第3週の火曜日 10：00～12：00 及び 13：00～16：00
*日程については、前後する場合がありますので、必ず事前予約をお願いします。
- ・場所：東峰村役場ふるさと推進課
- ・予約先：090-2504-2448（移住コーディネーター直通）

■電話

- ・時間：平日の8：30～17：15
- ・相談先：090-2504-2448（移住コーディネーター直通）
*「移住又は空き家相談の件」とお伝えいただくとスムーズです。

■メール

- ・メールアドレス：furusui@vill.toho.fukuoka.jp
- ・時間：24時間365日（お返事は、平日の日中に行います。）

お問合せ

東峰村役場ふるさと推進課（電話：0946-72-2312）

ふるさと推進課

◆空き家を東峰村空き家バンクに登録しませんか？

空き家バンク制度とは、空き家や空き地の情報を村のホームページで公開し、買いたい人や借りたい人に紹介するもので、移住・定住による地域活性化や空き家対策を目的にしています。空き家バンクに登録された物件で売買、または賃貸借の契約が成立した場合、空き家改修費用（最大50万円）や引っ越し費用（最大10万円）、家財道具処分費用（最大10万円）の補助を利用できる場合があります。*空き家の状況によっては登録出来ない場合もあります

空き家バンクって何？

空き家の賃貸・売却を希望する所有者から提供された情報を、空き家をこれから利用・活用したい方に紹介する制度です。

どんな物件が登録できるの？

現地調査の上、危険家屋や不動産会社に流通している物件等でなければ登録可能です。

登録後はどうなるの？

村のHPで空き家・空き地を紹介します。購入・賃貸希望者が現れたら、所有者の方と直接もしくは不動産会社を通じて間接的に交渉・契約を行います。

お問合せ

東峰村役場ふるさと推進課（電話：0946-72-2312）



〇こころの健康相談について

こころの悩み・ひきこもり・思春期・アルコール・薬物・ギャンブル・もの忘れなどでお悩みの方、または、その家族の方などのご相談を受付けております。*相談は無料、予約制です。

■内容

- ・こころの相談（全般）
日時：毎月毎週火曜日
場所：北筑後保健福祉環境事務所 本庁舎（朝倉総合庁舎内）
時間：13：00～15：00
- ・児童及び思春期の相談
日時：毎月第4月曜日
場所：うきは市総合福祉センター（うきは警察署西側）
時間：13：00～15：00

■お問合せ

福岡県北筑後保健福祉環境事務所 健康増進課
TEL：0946-22-3965

〇福岡県いじめレスキューセンター

センターが相談者に寄り添っておはなしをうかがいます。（電話相談、メール相談、面談相談（要予約））

■対象事案

- ①学校への相談を迷ういじめ
- ②学校への相談後、第三者による支援を希望するいじめ。

■対象者

福岡県内の小・中・高等学校・高等専門学校に通う児童生徒とその保護者

■支援体制

社会福祉士、精神保健福祉士等の資格を持つ支援員がお話を伺います。

■開設時間

日曜日から金曜日までの10時から18時まで（祝日及び年末年始を除く）

■場所

吉塚合同庁舎6階
（福岡市博多区吉塚本町13-50）

■お問合せ

福岡県いじめレスキューセンター
TEL：092-645-2567
メール：fukuoka.ijime@rescue-center.org



〇臨時教員等登録制度のご案内

■対象職種

講師（常勤・非常勤）、養護教員、学校栄養教員、学校事務職員

■対象者

希望する校種・教科の教員免許状を有する人（取得見込も可、栄養教員は栄養士の資格で可、事務職員は不要）

■勤務場所

東峰村、筑前町、朝倉市、うきは市、久留米市、小郡市、大刀洗町の公立小・中学校

*週数時間から勤務可能

■お問合せ

福岡県教育庁 北筑後教育事務所
TEL：0942-32-3161



〇ハローワーク「求人者マイページ」の開設

福岡労働局・ハローワーク朝倉では、より一層のサービス推進のため、オンラインによる求人受付・公開の普及に取り組んでいます。

「求人者マイページ」を開設することにより、ハローワークに来所いただくことなく、求人申込が可能となるほか、公開している求人内容の変更、応募者の確認や選考結果の通知等が可能となります。

ハローワーク朝倉では、「求人者マイページ」の開設や操作を求人支援員が訪問してお手伝いします。お気軽にお問合せください。



■お問合せ

ハローワーク朝倉 専門援助・事業所部門
TEL：0946-22-8609

1・2月 休日当番医表

在宅医表 (1・2月) ※ (色つき枠) は外科担当の病院です。

当番日	病医院名	所在地	TEL
1月19日(日)	きたの小児科医院	屋永	0946-23-1177
1月26日(日)	福島外科小児科医院	四重	0946-22-2565
2月2日(日)	たかせ小児科医院	来春	0946-21-1146
2月9日(日)	筑前町中央ふくまこどもCL	筑前	0946-42-8055
2月11日(火・祝)	富田小児科医院	甘木	0946-22-2036

甘木朝倉在宅当番医

休日夜間急患センター

電話番号：0946-23-0077 所在地：朝倉市来春 422-1 朝倉医師会病院内

地域住民の休日及び夜間における初期救急医療を確保するため、休日夜間初期急患診療を休日夜間急患センターにおいて行っております。

診療科目	診療日	診療時間
内科・外科	平日(月曜日～金曜日)	20:00～翌日7:00
	土曜日	12:30～翌日9:00
	日曜日、祝日、年末年始	9:00～翌日7:00
小児科	平日(月曜日～金曜日)	19:30～23:00
	土曜日	17:00～23:00
	日曜日、祝日、年末年始	9:00～23:00

当番日	病医院名	所在地	TEL
1月19日(日)	くぼやま歯科医院	堤	0946-21-1457
1月26日(日)	きたじま歯科クリニック	久喜宮	0946-62-3500
2月2日(日)	古賀歯科医院	牛鶴	0946-22-2988
2月9日(日)	しのぎき歯科クリニック	比良松	0946-52-0067
2月11日(火・祝)	篠崎歯科医院	甘木	0946-22-3276

歯科

当番日	内科			外科		
	病医院名	所在地	TEL	病医院名	所在地	TEL
1月19日(日)	岩尾病院	淡窓	0973-22-6161	城谷病院	元町	0973-23-6115
1月26日(日)	松浦クリニック	中央	0973-24-4155	秋吉病院	豆田	0973-23-0808
2月2日(日)	福田医院	清岸寺	0973-22-1648	若宮病院	南元町	0973-22-7171
2月9日(日)	聖稜花月クリニック	清水	0973-27-5050	大河原病院	隈	0973-22-3131
2月11日(火・祝)	こじかこどもクリニック	大宮	0973-25-5188	城谷病院	元町	0973-23-6115

日田地区在宅当番医表

*注意事項
1. 診察時間は午前9時から午後5時までです。2. 急患に限ります。3. 往診はしません。

*救急指定病院

○日田中央病院 TEL: 23-3181 ○聖陵岩里病院 TEL: 22-1600
○一ノ宮脳神経外科病院 TEL: 24-6270 ○済生会日田病院 TEL: 24-1100

*お問合せ 日田市役所 TEL: 0973-23-3111 (午後5時以降は TEL: 23-0099)

*日時等、変更になる可能性があります。事前に電話で確認してください。

救急車の適正利用にご協力ください！

甘木・朝倉消防署では、救急件数が過去最高のペースで増加中です。一刻も早い治療が必要な方のために、救急車の適正利用にご協力ください。

■病院へ行く？救急車を呼ぶ？迷った場合は ⇒ 救急医療電話相談 TEL: #7119 (短縮ダイヤル)

■お子さんの急な病気や怪我で心配な場合は ⇒ 小児救急医療相談 TEL: #8000 (短縮ダイヤル)

村の行事（1/16～2/15）

月日	曜日	行事予定	場所・時間・備考
1/25	土	第41回朝倉地区人権・同和教育研究会	ピーポート甘木・12:30～
2/8	土	AIR事業ミニコンサート（添田町）	添田町オークホール・15:00～
2/9	日	AIR事業ミニコンサート（東峰村）	小石原公民館・15:00～



人の動き			年齢別	
東峰村（令和6年11月末現在）前月比			0歳～19歳	215
人口	1,771	2	20歳～39歳	225
男	832	2	40歳～59歳	338
女	939	0	60歳～79歳	664
世帯数	795	3	80歳～99歳	323
			100歳～	6

今月の納税	税目	●村県民税（第4期） ●国民健康保険税（第7期） ●後期高齢者保険料（第7期）	東峰村ごみ収集量（令和6年11月分）（kg）				
			種別	当月分	前月分	増減	
	納期限	1月31日（金）		可燃ごみ	29,870	30,770	▲900
		1月27日（月）		資源ごみ	3,920	2,930	990
粗大ごみ				380	1,040	▲660	
口座振替日	1月27日（月）		合計	34,170	34,740	▲570	

交通事故情勢（令和6年11月末現在）			
	発生（前年比）	交通事故死者（前年比）	飲酒運転事故（前年比）
朝倉署管内	259（+27）件	3（±0）件	2（±0）件
東峰村	4（+1）件	0（±0）件	
県下	16,981（-1,632）件	83（-4）名	90（+11）件

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は広報「東峰」をご愛読いただき、誠にありがとうございました。広報担当になってしばらく時間が経つので、来年こそはそろそろ異動かな～と毎年思いながらも、もう5年が経過しました。少しは広報担当として村民の皆様浸透されましたでしょうか？

広報はとても大変な仕事ですが、地域の皆さまと繋がれ、村の魅力を発信することができる、とてもやりがいのある仕事です。本年も、昨年以上に村民の皆さまの関心事等をもっとたくさんお届けできるよう、頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。また、皆さまからの情報提供等もお待ちしております。

本年も広報「東峰」をよろしくお願いいたします。（広報担当 室井）



Photo Gallery

フォトギャラリー



▲1年を健康で過ごせますようにと願う鬼火焚き



▲寒い冬は空気が澄んでいて星空がきれい



▲冬といえばゆずの季節



▲冬を明るく彩る寒菊



▲冬の寒さに負けず花を咲かすサザンカ



▲一昨年は釈迦ヶ岳に登って初日の出を見ました



毎月23日は親子読書の日です。本を読みましよう。

東峰村公民館

編集・発行 東峰村役場ふるさと推進課 福岡県朝倉郡東峰村大字宝珠山 6425

TEL 0946-72-2312 E-mail : furusui@vill.toho.fukuoka.jp